



学びのアップデート

Learning Updates

- 調査結果から東京都の情報モラル教育を考える
- 「フリー素材」って本当にフリー？
- 教員が苦手としているICT活用指導力とは？
- 子供たちにとって身近な生成AIの世界
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を考える「デジタルを活用したこれからの学び」

■ ある日のテレビのニュース番組で・・・

国の調査によると、学校が認知したいじめのうち、
「パソコンや携帯電話等でひぼう・中傷や嫌なことを
され」たものが **3.5%** ありました。

これは毎年増加している
とのことですよ。



出典：令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果
(令和5年10月4日)

https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_1.pdf

東京都では、どのようになっているの
でしょうか。

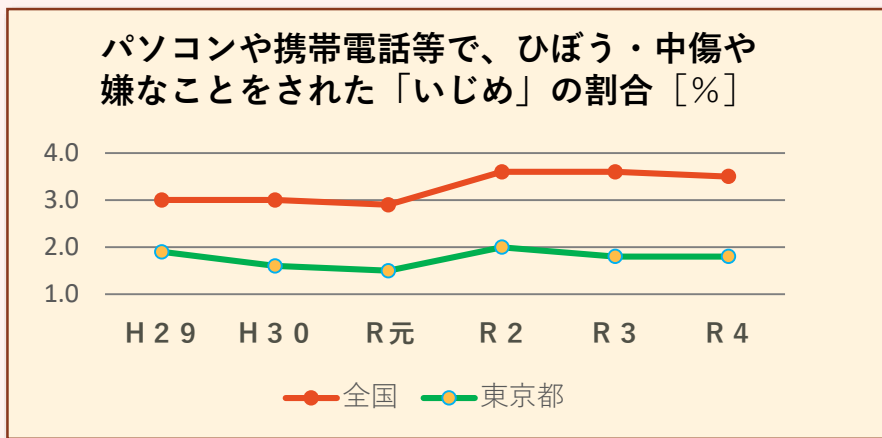


調査結果から東京都の情報モラル教育を考える

■ 都内公立学校の場合は・・・

前回の調査で、学校が認知したいじめのうち、パソコンや携帯電話等でひぼう・中傷や嫌なことをされていたものは1.8%でした。

全国平均の半分程度です。この傾向は、ここ6年間変わっていません。



東京都は低いんですね



SNS東京ルール（平成31年4月改訂）

- ① スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。
- ② 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
- ③ 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
- ④ 個人情報を教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。
- ⑤ 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

東京都の取組

平成27年から「**SNS東京ルール**」の取組を進めてきました。平成31年に改訂し、現在も「SNS学校ルールの作成」、「SNS家庭ルール作成の啓発」をお願いしています。子供たちがSNSを適切に利用できるよう**これからも子供への御指導をお願いします。**

「いじめられています。」と言えず、モヤモヤする気持ちを持ち続けている子供がいるかもしれません。

- ・ 日頃の教育相談体制の充実
- ・ 子供たちとのコミュニケーション
- ・ 子供の言葉を受容的・共感的に聴く姿勢

を大切にして「**いじめ見逃しゼロ**」を目指そう！



出典：東京都教育委員会、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/statistics_and_research/delinquency.html
文部科学省、児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm

「フリー素材」って本当にフリー？

■ 利用規約を確認しましょう！！

このような事例が報告されています。

学校だよりを作成・配布・ホームページ上に掲載するときに・・・



1月の学校だよりで新年のあいさつを書こう。
イラストは「フリー 無料 お正月」で検索して選ぼう。



後日、学校に連絡があり・・・



学校だよりに掲載されたイラストの著作権者の代理人弁護士です。イラストを無断使用しているため、損害賠償として●十万円を請求します。

え？フリーだから無料じゃないの？



■ フリー素材とは

ネット上には、イラストや写真などのフリー素材を扱うサイトがたくさんあります。しかし、フリー素材と言っても「無料で、自由に、何にでも使える」とは限りません。どう使えるかは「**利用規約**」に記載されています。

『利用規約』を確認しましょう！

フリー素材のサイトの『利用規約』を確認しましょう。

■ 主なチェックポイント

- ・ 利用時の制約（利用数量、掲載メディアの制約等）
- ・ 利用料金
- ・ 加工や編集（トリミング）の可否
- ・ クレジットやリンクの表記は必要か
- ・ 使用許可を得る必要の有無（無料でも許諾必要など）

■ 利用規約の例

「いらすとや」 <https://www.irasutoya.com/p/terms.html>

「ぱくたそ」 <https://www.pakutaso.com/userpolicy.html>

※利用目的によっては使用できる点数に制限があるなど、利用条件はサイトごとに異なります。

検索サイトで画像検索した結果から、元のサイトの利用規約を確認せずに利用してはいけません。

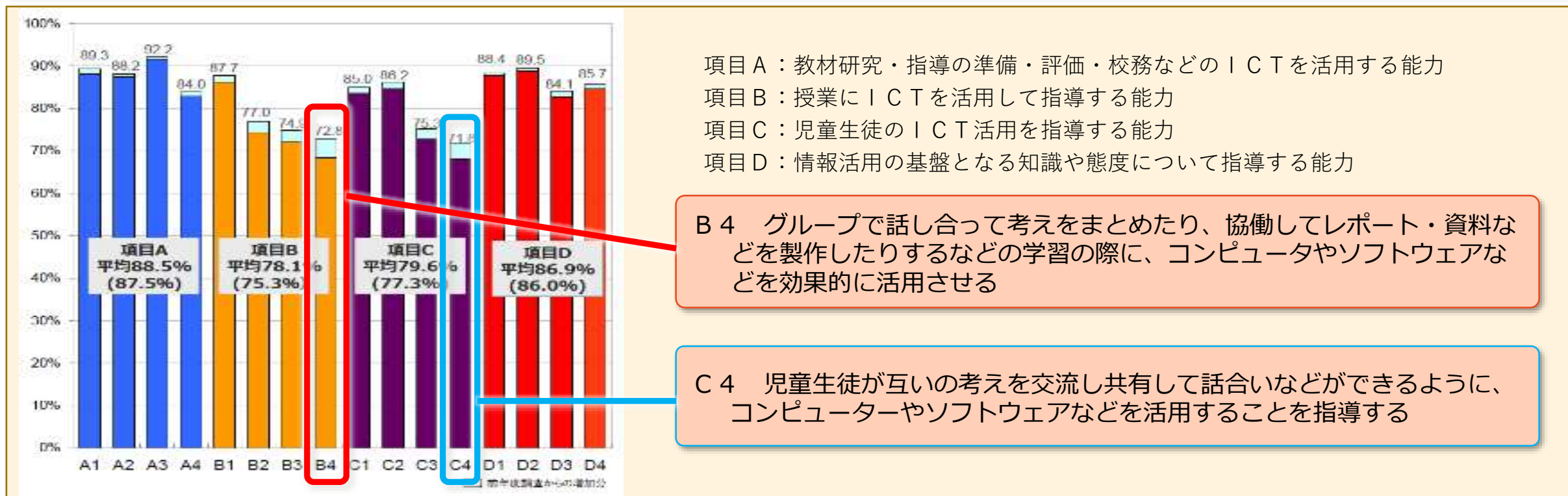
『利用規約』を確認して正しく利用しましょう！



教員が苦手としている I C T 活用指導力とは？

I C T 活用指導力の課題について 令和4年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」令和5年10月 文部科学省

令和5年10月31日（火）に文部科学省より「令和4年度 学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果が公表されました。「教員の I C T 活用指導力の状況について」の中で値が低かった2項目を紹介します。



結果を見ると、I C T 機器を活用して児童・生徒に協働的な学びを取り組ませることに苦手意識をもつ先生がいるようです。まずは「**共同編集機能を使って発表原稿を作る**」など、指導しやすいことから始めてみませんか？校務でも共同編集機能を使って会議資料を作ることで教材研究にもなり、指導のポイントが見えてきます。



「LINE」で気軽に生成A I（ChatGPT等）

家庭ではメッセージアプリである「LINE」等で生成AIを気楽に利用できる状況です。実態を見てみましょう。



■「LINE」では？

LINE用生成AIサービス※を**友だち登録すると利用可**

※複数有。興味ある方は調べてください。

■スマホ専用アプリでは？

多数のアプリが公開中

インストールすれば利用可

OpenAI社のChatGPT※や、MicrosoftのBingのアプリもあります。

※13歳以上が利用可。18歳未満は要保護者同意



■作文・レポートや自己PR文に活用することも…

自分で考えを深めるのではなく時間短縮だけを目的に使ってしまう可能性もあります。



■画像生成AIを試すことも…

「LINE」に登録すると、**画像生成AI**※も比較的簡単に試せます。

※例えば「窓辺にたたずむ猫」と文字で入力すると、そのとおりのデジタル画像が生成されます。



■子供たちが生成AIの特性等を理解しないまま利用することは危険です。

○ **誤った情報を自信たっぷりに回答**する特性

○ **現在の価値観に対し偏った情報を含んだ内容を回答**する特性

・偏った学習データも含む既存データに基づいて回答するため、進路相談等の相手として利用する際に注意が必要（「あなたが女性なら○○がお勧め」と回答される可能性）

入出力データは外部に保管されるため、個人情報を入力することは危険です。


関連して、イラストは無料で生成させればよいとばかり考え、イラストレーターや画家など著作権者の権利を軽視するような風潮も問題となるでしょう。



生成AIを試している子供は一定数いるでしょう。子供なりに便利さを感じているものと思われます。生成AIは、学校で取り扱わなくても、**子供たちの生活に溶け込んでいく**と予想されます。

学校で生成AIについて注意喚起できるよう、東京都は高校生向け電子リーフレットを配布する予定です。





愛知県春日井市のT中学校に行ってきました！

子供が協働的に学ぶ授業デザイン

T中学校では、デジタルを活用し、友達の考えを自分に取り入れながら学ぶ「**他者参照**」と、各教科等における「**学びのプロセス**」を重視しながら授業作りを行っていました。共有ファイル、付箋紙アプリ、チャットを普段から活用しています。

教師は「友達の考えを写すこと」を悪いこととしがちです。T中学校では、「友達の考えを取り入れながら自己の考えを広げ、深めること」を前提にした授業デザインを組んでいます。これらは大いに参考になると感じました。

T中学校の取組から学んだ授業改善のポイント

協働的な学びを活性化するデジタル活用

☑ T中学校の実践のポイント

- ・ **共同編集機能**を活用した情報収集、整理・分析、説明、まとめ
- ・ **共有機能**を活用した他者参照を可能とする場の設定

デジタルリーフレット 「デジタルを活用したこれからの学びの提案」

4月3日付で各区市町村教育委員会や都立学校に発出したデジタルリーフレットです。

(教育委員会を通じ各学校に送付済みです。)

個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実に向け、一人1台端末時代の新たな学びの姿を示しています。校内でぜひ御活用ください。



本リーフレットの担当は東京都教育庁総務部教育政策課です。

「とうきょうの情報教育note」はじめました。「デジタルを活用したこれからの学び」に関する情報を発信していきます。

https://note.com/t_info_education

New!



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第19号 令和5年12月4日発行 東京都教育庁総務部教育政策課